

すてき発見!!

今どきの写真事情



年中児の R ちゃんが描いたばかりの絵を見せてくれながら、「見て〜。桜の花とちゅうりっぷがいっぱい咲いてて、R は、虫眼鏡で虫探しをしてるのよ。」と話してくれました。虫眼鏡をのぞいている R ちゃんの眼は、とっても大きく描かれています。年中さんになってわずか1か月。R ちゃんの観察力、表現力に驚きました。とっても素敵な1枚です。

5月のさわやかなある朝、どこからか「グワッ、グワッ」とかえるの鳴き声が聞こえてきました。大きな声なので、アマガエルではないようです。その日からピオトープでカエルの目撃情報が多発し、年長さんは、ピオトープを探索すると、カエルを見つけて大騒ぎです。カエルを目撃して、すぐにピオトープの中に、たくさんの卵を発見。たくさんの卵がゼリー状の液体に包まれて浮いていました。ゼリーを引き上げると「わー」と大歓声。卵を水槽に移すと小さな子どもたちも興味津々、じっと見入っています。卵はあっという間にオタマジャクシとなり、興味のあるご家庭、姉妹園に数十匹ずつお裾分けをしました。これからどんな風に手や足が出てくるのか、エサは何がいいのか、子どもたちは図鑑とにらめっこをしながら新たな発見の日々が続くことでしょう。ちなみに年長さんのお部屋の前には、カブトムシの幼虫が10匹います。年長さんが、優しくお世話をしてくれているおかげで、さなぎになりつつあります。ケースの横から幼虫のまわりに空洞ができていたことを発見し、またまた興味津々。いろいろな小さな命と触れながら、生命の神秘、命の尊さについてたくさんの学びがあることでしょう。

5月7日に子ども家庭庁より、『幼稚園・保育園などのホームページに掲載されていた子どもの性的な部分を含む画像が、第三者により悪質な目的で使用されたという事例が報道されたので十分な配慮をするように』というお知らせが届きました。子ども家庭庁から注意喚起されるまでもなく、性的な部分を撮影するという事は、当然あってはならないことで、すいこうでも写真の掲載に際しては、細心の注意を払っていますが、4月の園長会において姉妹園で実際に起こった事例の報告がありました。2歳児クラスで自分でズボンをはこうとしている様子を掲載したところ、「自分の子どものパンツ姿が映っている。すぐに削除してほしい。」という保護者の声があったそうです。どのようなパンツ姿だったのかはわかりませんが、2歳の成長の過程で、自分でやりたいという気持ちの芽生え、それに向けて頑張る姿はとても愛おしく、保護者にお伝えしたい姿です。「その写真を掲載した意図をしっかりと伝えていって保護者の方の受け止め方も違ったかもしれないね」と話し合いました。これからの季節、プール

あそびや泥んこあそびなどで、それぞれのあそびに取り組む姿、成長の様子を写真を通してお伝えしたいことがたくさんあります。特に水あそびなどでは子どもたちの最高の笑顔が見られます。トラブルを回避するため、笑顔の写真だけを配信すればいいのかということになりますが、そうではありません。なぜその笑顔になったのか、例えば、数人の友だちとペットボトルでいかだを作り、プールに浮かべて乗ったり押したりしている姿は、笑顔だけの配信では、あそびの過程や子どもたちの育ちをお伝えすることができません。小さいクラスの子も水が流れていく様子などに驚いたり、体全体を使って楽しんだりしている姿をお伝えするには、パンツ姿を撮影することもあると思います。「一人ひとりの子どもたちの人権を守っていくことも大切ですが、成長している姿もお伝えしたい」そんないろいろな思いを職員間で話し合っているところですが、今後も子どもたちの成長を保護者の皆さんと共有し、喜びあっていきたいと思っておりますので、十分注意を払いながら写真をお届けしていきたいと思っています。保護者の皆さんも配信されている写真などの取り扱いには十分ご配慮いただき、「可愛いからといってSNSやYouTubeにアップする」などといったことはなさいませぬようお願いいたします。子ども家庭庁からの文面にも「第三者による」と書かれています。写真の一部を切り抜いて大きくアップされた画像なのかもしれません。おじいちゃんおばあちゃんを含め、ご家族でお楽しみいただきますようお願いいたします。また、気になることなどがありましたら、ご遠慮なくお知らせいただきましたら幸いです。

これから梅雨期に入りますが、雨の日だからできる活動もあります。子どもたちの大好きなピオトープでは、先日メダカの放流会を行い、たくさんのメダカが仲間入りをしました。どじょうの赤ちゃんもたくさん生まれ、オタマジャクシと共存しています。園庭の隅っこにあるクローバー畑には、小さな芽たくさん出ていますので、梅雨が明けたら、バッタなどが飛んでくることでしょう。すいこうの園庭には不思議や発見がいっぱいです。自然の楽しさ、不思議さに触れ、雨の恵みにも感謝しながら、楽しく過ごしていきたいと思っております。園長 上原玲子

地域への子育て支援

認定こども園には、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」という、教育・保育の在り方を明文化しているものがあり、その中に「子育て支援」という項目が掲げられています。園の保護者だけではなく、地域の子育て中の保護者に対しても支援を行うことが義務付けられており、そのあり方は各園様々です。すいこうでは、できるだけ園を開放し、地域の方にも子育ての楽しさや大切なことなどをお伝えできればと思っています。

現在、育児に追われ、孤立化している子育て中の方による虐待などの報道もあります。ご近所に子育て中の方がおられましたら、「すいこうに行くと、ママ友ができるよ」などと声をかけていただければ幸いです。



じめじめ じとじといよいよ 梅雨 入り!

人間にとっては、うっとうしい雨でも、雨が降ると元気に活動し始める生き物がいます。

かたつむり

巻き貝の仲間 雌雄両方の機能を持っている。こけや野菜を食べる



あまがえる

鳥や蛇から身を守るため、葉っぱの上では緑、木の幹の上では茶色に色を変える



あじさい

花びらのように見えるのは、がく、花は真ん中にある



この時期だから楽しめることを考えると、雨も楽しいものになることでしょう

子育てメッセージ

大変な時は、 周囲に甘えれば いいんだよ

子育ては残念ながら、楽しいことばかりじゃない。時には自分たちだけでは手に負えないこともありますよね。そんな時にはがまんしないで周囲の手を借りてみましょう。お返しは、急がなくてもいいですよ。いつか、今度は、誰かに力を貸してあげられる時が必ず来るのだから…。

全国私立保育園連盟  
子育てメッセージより

